

請 願 文 書 表

〔令和3年11月15日〕
第4回市議会定例会

受理番号	請 願 第 4 号
受理年月日	令和3年10月27日
件 名	子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
請 願 の 要 旨	<ul style="list-style-type: none">・教育費の保護者負担を軽減すること。・子供たちの学びの充実のために、教職員を増やすこと。・特別な支援を必要とする全ての子供たちに、行き届いた教育を保障すること。・子供たちに豊かな放課後を保障すること。放課後児童会の支援員・補助員の増員と労働条件の改善に努めること。・子供たちの命と安全を守り、学ぶ権利を保障するために、学習環境の改善を図ること。
紹介議員	落合勝二、酒井豊実、小黒啓子、北島定
請 願 者 の 住 所、氏 名	浜松市中区 XXXXXXXXXX 子どもと教育を考える浜松市民会議 代表者 小笠原 里夏 ほか2918人
付託委員会	市民文教委員会

令和3年10月27日

浜松市議会議長 和久田 哲男 様



請願代表者

住所

氏名 子どもと教育を考える浜松市民会議
代表者 小笠原 里夏
外 2918 筆

子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

紹介議員



【請願趣旨】

子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくるのがすべての父母・保護者・市民の願いです。新型コロナウイルス感染拡大を防ぎ、子どもたちのいのちと健康を守ることを第一とし、どの子にもゆきとどいた教育を保障するために、以下のことを請願します。

【請願項目】

- 教育費の保護者負担を減らしてください。
 - 経済的な理由で進学をあきらめる子どもが出ないように必要とするすべての大学、短期大学、専門学校等に対する返済不要の「給付制奨学金」制度を創設してください。
 - 子育て支援の観点から、給食費の負担を減らしてください。
 - 就学援助制度の認定基準の緩和、支給費目の拡大をしてください。
- 子どもたちの学びの充実のために、教職員を増やしてください。
 - 新型コロナウイルス感染防止のためにも、小学校3年まで実施している浜松式30人学級を全学年で実現してください。
 - 静岡県や静岡市が踏み出したように、「1クラス25人以上」の条件を撤廃してください。
- 特別な支援を必要とするすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
 - 発達支援学級の定数8人（情緒学級は7人）を6人に減らしてください。
 - 全小・中学校に発達支援学級を設置してください。
 - 中学校区ごとに、通級指導教室を設置してください。
- 子どもたちに豊かな放課後を保障してください。放課後児童会の支援員・補助員の増員に努めてください。また、支援員・補助員の労働条件改善にも努めてください。
- 子どもたちのいのちと安全と健康を守り、学ぶ権利を保障するために、学習環境の改善を図ってください。
 - 新型コロナウイルス感染から子どもたちを守るための教育条件整備に全力をあげてください。
 - 避難所にもなる体育館のトイレの洋式化・ユニバーサル化をすすめてください。